

英語教育の充実と江北地域の健康テーマのまちづくり



公明党 大竹 やよい 議員

英会話をより高める授業を

【問】①平成27年第4回定例会で、外国語指導助手の通年配置を要望されていたが、その後の検討状況はどうか伺う。

【答】足立スタンダードに外国語指導助手の位置付けを明記し、授業の目的に即した活用時期の明確化等、より効果的な授業の取り組みをすべきと思うが伺う。

【教育指導】①現在、5月から10月までの配置となっているが、翌年2月までとするよう期間の延長を検討している。

②足立スタンダードに明確に位置付けられるよう検討を進めるとともに、教員研修の充実を図っていく。

産後の心と体への手厚い支援を

【問】東京女子医科大学との連携も視野に、産後ケア事業を(仮称)江北健康づくりセンターで行うべきだが伺う。

【衛生】区全体で実施場所・方法を検討している。センター内では、金銭面・施設面等運営上の課題があり、宿泊型は困難だが、会議室の利用等でデイサービス型産後ケアの可能性については、引き続き検討していく。

江南・新田地域の課題と区民の命を守る災害対策を



公明党 石毛 かずあき 議員

周辺地域を結ぶ交通の確保を

【問】東京女子医科大学新東医療センターの整備を契機に、新田・宮城・小台地域と新病院を結ぶトラリアンゲルのバス路線が新規ルートとして示されているが、この路線は日暮里・舎人ライナー等への乗り継ぎを可能にして、地域の方々が利用しやすいよう配慮すべきだが伺う。



スポーツ施設と身近に体を動かせる環境の充実を

【問】上沼田東公園はテニスコートと野球場の再整備が予定されているが、近隣の地域の声を生かした気軽に親しめるスポーツの場も整備すべきと思うがどうか。

また、高齢者も楽しめるよう健康遊具を設置する等、体を動かせる環境の整備を工夫して図っていくべきだが、併せて伺う。

【みどり】有料施設である野球場やテニスコートの再整備のほかに、地元説明会等で要望されている誰でも気軽に利用できる広場等を整備していく。

また、使い方や効果を示した案内板を掲示した健康遊具や、複数のウォーキングコース設置等、高齢者も楽しめる環境を整備していく。

療センターの整備を契機に、新田・宮城・小台地域と新病院を結ぶトラリアンゲルのバス路線が新規ルートとして示されているが、この路線は日暮里・舎人ライナー等への乗り継ぎを可能にして、地域の方々が利用しやすいよう配慮すべきだが伺う。

【都市建設】現在、バス事業者が運行経路等、具体的な内容の検討を進めている。今後、事業者と協力し、乗り継ぎも含め、利用者にとって利便性が高い路線となるよう検討を進めていく。

【問】現在、バス事業者が運行経路等、具体的な内容の検討を進めている。今後、事業者と協力し、乗り継ぎも含め、利用者にとって利便性が高い路線となるよう検討を進めていく。



災害に対する意識改革を

【問】*家屋倒壊等氾濫想定区域である新田・宮城・小台地域に特化したタイムラインを地元と協議し、策定してはどうか。

また、マイ・タイムラインの作成を強く区民に働きかけ、発災時に早期避難ができるよう進める必要があるが、併せて伺う。

【危機管理】宮城・小台を対象に、区総合防災行政アドバイザーと連携し、江南連絡協議会でタイムラインの概要説明後、定期的に勉強会を開催予定である。

また、都作成の東京マイ・タイムラインを活用しながら、事前防災行動の重要性を周知し、作成を働きかけていく。

【問】宮城小学校、江南中学校は老朽化が進む。避難所がない新校舎の避難所で生命を守れ

宮城・小台地域の方々の生命を守るため、早期に新校舎に建て替えを行うべきだが伺う。

【学校運営】台風19号の経験から、今後は水害等の災害対策の視点も含めて小・中学校改築順

【問】特別区でサーマルリサイクルを開始した12年前とは情勢が全く違い、プラごみを燃やすごみ回収のあり方は見直しが必要である。区は決算審議で「より高度なりサイクルを求める時期に来ている」と問題意識はもっている」と答弁しているが、特別区の処理方法を見直すよう強く求めるべきではないか。

【区長】23区共同でごみ減量・リサイクル推進を検討している。環境負荷が少なく、分別の手間とコストが見合う方式が選択できるように求めていくとともに、技術面・制度面でも一定程度見直しが必要と認識しているため、検討の中で発言をしていきたい。

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】①防災無線が豪雨時等に聞こえないことへの対応を繰り返して求めている。区は平成26年に「個別受信機の配備や多角的な伝達手段を検討」と答弁したが、実現していない。今回も聞こえないという声が多数寄せられ、防災無線テレフォン案内は、何度掛けても話し中の事態も発

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】①防災無線が豪雨時等に聞こえないことへの対応を繰り返して求めている。区は平成26年に「個別受信機の配備や多角的な伝達手段を検討」と答弁したが、実現していない。今回も聞こえないという声が多数寄せられ、防災無線テレフォン案内は、何度掛けても話し中の事態も発

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

序を定めるよう改める。中でも宮城・小台地域は優先度が高いと認識しており、令和2年度末までにまとめる予定の学校施設更新計画で、建て替えの優先順位等を示していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

日本共産党足立区議団

プラごみ燃やさず温暖化防止！命を守る防災対策を！

日本共産党 西の原 えみ子 議員



【問】特別区でサーマルリサイクルを開始した12年前とは情勢が全く違い、プラごみを燃やすごみ回収のあり方は見直しが必要である。区は決算審議で「より高度なりサイクルを求める時期に来ている」と問題意識はもっている」と答弁しているが、特別区の処理方法を見直すよう強く求めるべきではないか。

【区長】23区共同でごみ減量・リサイクル推進を検討している。環境負荷が少なく、分別の手間とコストが見合う方式が選択できるように求めていくとともに、技術面・制度面でも一定程度見直しが必要と認識しているため、検討の中で発言をしていきたい。

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】①防災無線が豪雨時等に聞こえないことへの対応を繰り返して求めている。区は平成26年に「個別受信機の配備や多角的な伝達手段を検討」と答弁したが、実現していない。今回も聞こえないという声が多数寄せられ、防災無線テレフォン案内は、何度掛けても話し中の事態も発

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

して機能させるべきだがどうか

【危機管理】雨漏りのほか、水道が使用できない等の課題もあるが、「現在の旧日本木東小学校校舎を水害時においても避難所として開設するとともに、跡地利用に際しても防災拠点として整備するよう求める請願」が区議会各会派連名で提出されていることを重く受け止めているため、水害時にも第一次避難所として開設できるよう進めていく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【福祉】来年度から実施できるよう検討を進めている。実施する場合、都の高齢社会対策包括補助金等の活用も検討していく。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。

【問】70歳以上の半数は、加齢性難聴と推定され、難聴になると社会的にも孤立しやすくなる。2017年国際アルツハイマー病会議では、予防可能な認知症の9つの要因の中で、難聴が最大のリスク因子であると指摘された。聞こえ支援拡充は、生活の質を向上させるうえで重要な課題である。都の包括補助の活用等を行い、補聴器購入補助を早急に行うべきではないか。



【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

【問】19号を踏まえた防災対策を

国民健康保険料の減免制度の拡充・運用改善を直ちに

日本共産党 きたがわ 秀和 議員

国民健康保険の減免制度改善を

【問】区も含めた特別区の国民健康保険料は、全国的に見ても高すぎる保険料になっており、くらしを圧迫し続けている。減免制度の拡充・運用改善について、弾力的な運用を図っている区もあるため、直ちに改善を図るべきだがどうか。

【区民】他区の要綱を収集し、

研究するとともに、運用についての視察を行った。これらの結果を参考に、要綱の改正と運用方法の改善を検討していく。

【問】介護保険の給付費は国から25%、都と区からそれぞれ12.5%の公費が投じられることになっているが、国の5%分は区市町村間の調整交付金であり、

【問】介護保険の給付費は国から25%、都と区からそれぞれ12.5%の公費が投じられることになっているが、国の5%分は区市町村間の調整交付金であり、

【問】介護保険の給付費は国から25%、都と区からそれぞれ12.5%の公費が投じられることになっているが、国の5%分は区市町村間の調整交付金であり、

用語解説 * 足立スタンダード...基礎学力を保障するため、教員が児童・生徒の板書の見本、授業の進め方、指導の重点ポイントなどをまとめた授業の基本型のこと * 家屋倒壊等氾濫想定区域...家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域のこと * サーマルリサイクル...廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用すること